

第8回「臼杵市の未来を考える中学生と市長との意見交換会」

日時：令和7年11月25日 10:00~12:10 (3.4限目)
 場所：臼杵市立野津中学校 多目的室
 目的：臼杵市の魅力を再発見し、町おこしの方法を考える。学習した内容を工夫して相手に伝わるように発表する。自分たちで調べて考えた内容を市長と意見交換し、考え続ける態度を育成する。

地域の未来を担う子どもたちに臼杵の現状や魅力、未来像を考えてもらおうと、平成30年から始めた「臼杵市の未来を考える中学生と市長との意見交換会」今年も、11月25日(火)に野津中学校で開催され、1年生生徒45名が総合的な学習の時間の中で、自分たちが調べて考えたテーマ「野津町でのイベントの計画」「農業での町おこし」「ユネスコ食文化創造都市としての伝承・発展」「のつてらすの活用」について、1~4班の各班から市長に提案し意見交換をおこないました。(4班からの提案タイトル・内容は右欄に掲載)

西岡市長のコメント

皆さんの発表は、臼杵が大好き、野津が大好きというメッセージがよく伝わる内容で、どれも野津を元気にしたいという想いが詰まったすばらしい提案でした。
 野津地域で育つ皆さんにとって、ここで育つことは本当にすばらしいことです。みんなの当たり前は、他のまちの人から見ると、当たり前ではありません。こんなに素敵なおとこで、中学生を送ることができることは、本当にすばらしいことです。
 本日、皆さんが一生懸命考えてくれたこれらの提案はできる限り実現していきますので、これからも臼杵市の魅力を再発見して、一緒に町おこしの方法を考えていきましょう。



4分野 提案内容

1班	野津町が活性化するためのイベントの計画	<p>(提案理由) スポーツ大会・花火大会・ロードレース・ウォークラリー・吉四六祭りの新たなイベント(人口減少が進んでいる。魅力的なイベントを考え、野津町に人を呼び野津のすばらしさを感じてほしい。)</p> <p>(提案内容) 1.スポーツ大会 <開催時期> 10月のスポーツの日付近 <場所> 諏訪山体育館 <競技> バレーボール バasketボール ドッチボールなど <参加料> 大人300円 中高生200円 <景品> お菓子や飲み物 2. 自転車ロードレース <開催時期> 5月10日付近の日曜日 <開催場所> のつてらすスタート→野津町1周コース24.1Km→のつてらすゴール <駐車場> 野津中グラウンド <景品> 野津や臼杵の特産品(かん太くんなど) 3. ウォークラリー <開催時期> 9月20, 21, 22日のいずれか。 <コース> 野津商店街~普現寺~のつてらす <クイズ> 6か所準備する(正解するとスタンプを押してもらえ)スタンプの数で景品がもらえる。</p>
2班	臼杵市の農業の魅力を再発見することから町おこしを考える	<p>(提案理由) ほんまもん野菜の特徴や土づくりへのこだわりなど調べているうちに、とても魅力的な野菜であることを再確認した。その野菜をたくさんの人に食べてもらいたい。「ひゃくすた」はとても魅力的なマーケットなので、もっとたくさんの人に足を運んでほしい。) 甘太くんは他のさつまいもと比べて糖度がとても高い。そのわけや魅力を広く伝えたい。今、焼き芋がブームと聞くので、焼き芋に注目して、甘太くんのおいしさを知ってもらいたい。)</p> <p>(提案内容) 1. ほんまもん野菜の魅力を伝えるポスター作り * 野菜嫌いな子どもでも食べたいようなメニューを考え、レシピをポスターに掲載する。 2. 新たな甘太くんのゆるキャラを作成 * ゆるきゃらの甘太くんに、焼き芋バージョンの仲間を作って紹介し、印象を強くしたい。 3. 焼き芋を配る。 * 「のつてらす」で焼き芋を配るなどして、甘太くんをたくさん食べてもらう。</p>
3班	臼杵の食文化の伝承と発展	<p>(設定理由) ユネスコ食文化創造都市に認定された臼杵市の食文化の素晴らしさについて学ぶと同時に、自分たちが伝承や発展に関われることを探して提案する。</p> <p>(提案内容) 1. のつてらす等を利用した食文化のワークショップを開催し、そこで臼杵の食文化について学習する場をつくる。 * 臼杵市がユネスコ食文化創造都市に認定されていることを1年生46人中3人しか知らなかった。もっと臼杵の食文化の素晴らしさを知ってほしいから。 2. 臼杵の醸造業について調べ、それを発展させるための取り組みを考えて提案する。 ①のつてらすやゆるる、公民館などで「醸造フェス」を開く ②近隣の市のイベントに醸造業を知ってもらえるような出店やキッチンカーを出す。 ③臼杵の味噌や醤油を使った料理教室を開く。 * 臼杵の醸造業については味噌、醤油、酒造り等が有名だが、もっと多くの人に親しんでもらうために何かできることがあるのではないかと。 3. 臼杵の郷土料理について調べ、それを伝えていく取り組みや、臼杵の食材を活かした新たな伝統料理を作り出す取り組みを考えて提案する。 ①のつてらすで郷土料理教室をひらく。 ②学校給食に郷土料理を出す日を造り、Instagramなどで分量や作り方を公開する ③野津の野菜を使った新しい郷土料理をコンテスト形式で募集する * 臼杵の郷土料理といえば「きらすめし」や「黄飯とかやく」が有名だが、給食で食べることはあっても家ではあまり食べたことがない。もっと誰でも作れるようにならないものだろうか。</p>
4班	地区(野津)の発展について考える	<p><提案理由> 「のつてらす」の来場者が予定より多いことを知り、「のつてらす」をもっと多くの人に活用できるようにしていき、</p> <p><提案内容> 1. 「のつてらす」のパンフレットをつくる。 * 「のつてらす」に興味を持ってもらえるように、生徒が作ったパンフレットを市内の観光スポットにおいてもらいより多くの人に「のつてらす」の良さを周知させたい。今まで以上に「のつてらす」に興味を持つ人が増え来場者の増加が見込まれる。 2. 「のつてらす」は小さな子ども連れの家族が多数利用している。食事ができる場所や若者が集まれる場所等をつくる。 * 親子連れだけでなく、中高生も利用しやすくなるのではないかと。また、収益があがり運営に協力できるのではないかと。 3. 「のつてらす」のように廃校等の利用について * 「のつてらす」のように来年度閉校する予定の川登小学校、南野津小学校など使われなくなる施設を再利用する方法を考え、川登小学校を道の駅構想を提案する。また新しくできたフェリーターミナルも候補地として提案したい。そうすることによって地元で採れた野菜や食文化を多くの人に知らせることができる。人が集まればそこでまた、そのことが農業などの活性化につながり、農業を目指す人や移住などを推進し野津町の活性化につながると考えた。</p>